



匠を感じる住まい

平成26年8月吉日発行
一般社団法人
三重県古民家再生協会発行

「四日市市にて、東海3県合同の古民家鑑定実習が行われました！」

古民家鑑定とは、古民家を文化的価値に基づいた価格評価をし、古民家の活用・売買のためなどに全国で年間100～200件ほど活用されているものです。

今回の実習は、四日市市平津町の築100年あまりの古民家において実施され、家主様の心遣いにより、初夏の草花のしつらえが施されており、目に美しい実習となりました。今後とも、



古民家鑑定により、古民家活用の一端を担えればと考えています。

「伝統工法のための耐震診断、早稲田式動的耐震診断実習が行われました！」



開催地は、津市河芸町のN様邸。



このN様邸はなんと、明治37年の建築です。それから110年代々家族で住み継がれています。家族で住み継いでいくことは、簡単そう見えてとても難しいことです。こうして家族に守られている古民家に出会えて幸せな気持ちになりました。

—裏千家茶道修業レポート—

「『第24回男子組 研修会』へ参加しました。」

平成26年7月18日(金)～20日(日)の3日間、宗家において、第24回裏千家男子組研修会ならびに第26回裏千家学生セミナーを合同開催しました。男子組研修会には、29名が、学生セミナーには、中国の大連外国語大学茶道部の学生9名を含む53名が受講しました。

午前9時から茶道会館にて、開講式が行われ、千宗室家元からは、「3日間、宗家で学ぶことで、突然何か身につくということではありません。階段を一段一段上がるような気持ちで稽古に臨んでください」との挨拶がありました。

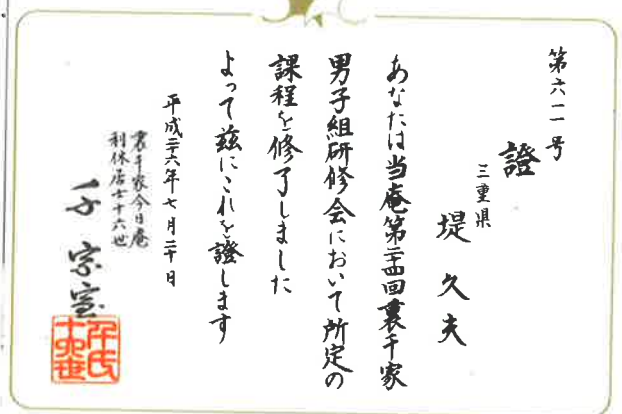
開講式後、家元は、1人ひとりと言葉を交わされ、その後各班に分かれて研修がはじまりました。

初日の夜には、夕食懇親会が開催され、受講者同士の交流を深めるひとときとなりました。最終日には、開講式が行われ、班毎に記念写真を撮影し、この3日間の講習を終了しました。

自分の現在の位置やスタッフの指導等へも通ずる内容を客観的に感じる事ができた貴重な機会となりました。



家元との記念写真



講習修了証書